

総合技術研究会 2025 筑波大学に参加して

技術センター 藤高 仁

1. はじめに（目的等）

本研究会は、各教育・研究機関の機器分析に携わる技術職員が、日頃の業務の成果等を討論するものである。本研究会を通じて全国の技術職員と交流し日常の業務遂行に役立てるために出席した。

2. 期間・場所

期間：2025年3月6日～7日

場所：筑波大学筑波キャンパス

3. 参加者等

大学、高等専門学校、大学共同利用機関等の技術職員 500名以上

4. 研修内容

1 日目

- 開会式、次期開催校等 PR
- 特別講演 1「筑波大学のコアファシリティ戦略と技術職員の活躍促進に向けた組織整備について」

筑波大学 重田育照 副学長・理事（研究担当）・教授

- 特別講演 2「睡眠の謎に挑む ～原理の追求から社会実装まで～」
筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 柳沢正史 機構長・教授
- 特別講演 3「ナンセンスを具現化する明和電機のエンジニアリング思考」
筑波大学芸術系 土佐信道 教授 株式会社明和電機・代表取締役社長
- ポスター発表

2 日目

- 口頭発表（3日目まで）

5. まとめと感想

当研究会は多くの技術職員が参加できる研究会であり、これまで業務に関係はあるが、あまり知見の無かった分野の発表が聴け、大変勉強になった。他機関職員と協議できたことは大変有意義であり今後の業務に役立つ学外研修であった。